

令和5年度立川市SDGsの取組について

1 立川市におけるSDGs推進の方向性

(1) 地域や各団体に共通する課題や推進のポイント

令和3年度に設置した「立川市SDGs推進委員会」での議論より、SDGsを推進する上で「意識」「連携」「情報発信」の3つの課題が地域や各団体に共通していることがわかりました。

これらの課題は相互に関わり合い、課題であると同時に推進のポイントであることを踏まえ、立川市SDGsの推進を図っていきます。



(2) 推進体制

① 庁内推進体制

「まち・ひと・しごと創生推進本部」を引き続き活用して全庁的に取組を進めます。

② 外部委員による推進会議

外部委員による推進会議は、戦略とSDGsを一体的に推進することを踏まえた委員会とします。

(3) 進行管理

後期基本計画の各施策・事務事業の進行管理と一体的に行います。

2 令和5年度立川市SDGsの主な取組

本年度は主に「立川市SDGs特集」、「立川市SDGs職員研修」、「当初予算ビジュアル資料のSDGsの見える化」等を実施しました。

(1) 立川市SDGs特集 **意識** **情報発信**

「立川から地球のことを考える」をテーマに、市やステークホルダーの取組を広報たちかわにより市民等へ周知。

生理用品の配布

●女性を取り巻く諸課題への対応

物価高騰やその他のさまざまな理由から生理用品を購入できない女性を支援するために、生理用品を無償で配布しています。1人につき、生理用品1パック(28枚入り)を、市内十数か所で配布。あわせて相談支援窓口の案内を同封し、女性を取り巻く諸課題への対応を図っています。




防災備蓄用食料の再利用

●消費期限を迎える炊き出し用アルファ化米を畜産農家へ

防災課が購入し管理している備蓄食料であるアルファ化米のうち、消費期限を迎える分を市内の養鶏農家に引き取ってもらい、飼料として活用してもらっています。これまでは、他団体への寄付や、防災イベントでの炊き出し訓練などで利用してきましたが、さらに飼料としても活用することで、高騰を続ける飼料の購入経費の軽減にもつながっています。また、これらに係る全体的な輸送距離も短くなり、CO₂の削減にも貢献しています。



(2) 立川市SDGs職員研修 **意識** **連携**

職員のSDGsの理念や意義等の理解を深めるため、職員に対する研修等を実施します。
令和5年度は、包括連携協定締結先の協力により研修を実施。

① 開催概要

日時 令和5年8月2日(水) 第1回 午前9時～正午
第2回 午後1時半～4時半

場所 立川市役所302会議室

人数 54名(各課1名程度)

(3) 当初予算ビジュアル資料のSDGsの「見える化」 **情報発信**

本市は、各年度の重点取組事業を当初予算ビジュアル資料として作成しています。SDGs公式アイコンを活用し、ビジュアル資料にSDGsの「見える化」を図ります。



(4) ステークホルダーとの連携を促進 **意識** **連携**

包括連携協定を主軸とした官民パートナーシップにより、事業者のノウハウ等を生かした質の高い行政サービスの提供につなげ、SDGsを踏まえた連携を図りました。

なお、令和5年度より、包括連携協定先との連携実績の公表を開始しました。

≪主な連携事業≫

三井住友海上：脳卒中セミナー、ハラスメント防止対策研修

中央大学：立川市連携講座の実施、くらしフェスタの参加

IKEA 立川：父親向け育児講座、子ども委員会への講師派遣

3 次年度の取組推進の方策(案)

令和5年度の方策を継続しつつ、主に以下のことについて行います。

(1) ステークホルダーとの連携促進

包括連携協定を主軸とした官民パートナーシップにより、事業者のノウハウ等を生かした質の高い行政サービスの提供につなげ、SDGsを踏まえた連携を図ります。次年度は、新規協定1件以上の締結を目指します。

(2) 立川市SDGs職員研修

職員のSDGsの理念や意義等の理解を深めるため、職員に対する研修等を実施します。

(3) 当初予算ビジュアル資料のSDGsの「見える化」

重点取組事業をSDGs公式アイコンを活用し、当初予算ビジュアル資料として作成します。